

『生理検査予約』について

臨床検査部
宮下 三江水



現在、来院時の「受付票」や次回の「予約票」には、「最初に2階の採血室へ(診察前)」「〇〇科放射線予約あり」「〇〇科生理検査予約あり」などの表示が出ています。

『生理検査予約』とはどのような検査かご存知ですか? 「どこに行ったらよいのでしょうか?」と迷った方も多いのではないのでしょうか?

『生理検査』とは、生理機能検査の事です。と、言われてもピンときませんね!?

そもそも生理学とは、日本大百科全書(ニッポニカ)によると、「生体の機能、すなわち生物の体の働きを研究する一分野。」とあります。

『生理検査』は臨床検査の中の一つの分野で、患者さんと直に接して脳、神経、循環器(心臓)、呼吸器(肺)などの機能を調べます。

①脳波、神経系の検査

- ・**脳波**: 脳が活動するときに出る微弱な電気を波形で現わしたものです。
- ・**神経伝導検査**: 神経は脳から出る命令を手足に伝えます。逆に手足の感覚を脳に伝える役割もあります。その神経の伝わる速さを調べます。これは身体に微弱な電気を流して測定します。
- ・**筋電図**: 筋肉に針を刺して、力を入れた時に出る微弱な電気を調べます。

②循環器系検査(心臓、血管の検査)

- ・**心電図**: 心電図は心臓が収縮・拡張するときに出る微弱な電気を波形に現わしています。心電図検査は手足胸に電極を付けて、心臓の動きを12方向から見ることができます。ホルター心電図は心臓を2方向からしか見ることはできませんが24時間分の心電図を記録することができます。また、トレッドミル(ベルトコンベア)やエルゴメーター(自転車)を使って心臓に負荷をかけて心電図の変化や呼気ガスの組成を調べる検査もあります。
- ・**心臓超音波(心エコー)**: 身体の表面から心臓近くに超音波を当てて心臓の動きや大きさ、弁に異常がないかを調べます。
- ・**脈波・血圧(ABI)検査**: 手と足の血圧を同時に測って足の血管に詰まりがないかがわかります。また、脈波の伝わる速さで血管の硬さもわかります。

③肺、呼吸機能の検査

- ・**肺活量**: フローボリューム(スパイログラム)と言い、肺の容量(大きさ)と気管支の閉塞の有無(程度)を調べます。
 - ・**肺拡散能検査**: 口や鼻から取り入れた酸素を肺(肺胞)から身体の中へのどの程度取り込むことができているかを調べます。
 - ・**残気量**: 大きく吸ったり吐いたりしてもまだ肺には余裕があります。その余裕の部分(普段使っていない部分)がどれくらいあるかを調べます。
- 呼吸の検査には患者さまの努力と協力が不可欠です。

④その他

- ・**体液量検査**: 体重だけでなく、身体の中の脂肪、筋肉量、水分量などの組成を調べます。

『生理検査室』ではこれらの検査を行っています。検査に時間がかかったり、測定機器の台数に限りがある検査は予約制になっています。また、次回診察前に検査がある場合も予約検査として、会計時にお渡しする予約票に「生理検査予約」と表示されます。

ご不明なことはお近くのスタッフにお気軽にお問い合わせ下さい。